

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームやわらぎ

(ユニット名) 2階

記入者(管理者)  
氏名 白井典子

評価完了日 平成 20 年 8 月 1 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			独自の介護理念を3原則作成し、提示している。		
			(外部評価)		
			「自己決定権の尊重」等、利用者の尊厳ある生活を支援するための理念を掲げておられる。		さらに、貴事業所が地域の中でどのようなことを目指していくのかということについても、この機会にすべての職員で話し合ってみてほしい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			日誌や事務所の目に付く場所に提示し、日々確認しながら仕事に取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			共用空間や事務所に理念を掲示されている。事業所内の勉強会時、理念について話すこともある。		さらに、管理者は、理念を介護計画につなげていけるような取り組みもすすめたいと考えておられる。職員で意識を統一してケアを行いたいと話しておられた。
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			家族には、入居時に理念の説明をし地域の方々には、運営推進会議で話している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 気軽に立ち寄って頂けるように入出入りを自由にし、ペットを通して地域の方々との交流の場を設けている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 町内会に加入し、祭りや市民大清掃に参加したりしている。 (外部評価) 事業所の飼い犬を通じて、ご近所の方と会話が弾む事もある。事業所で行う夏祭りや音楽コンサート、おやつ作りには地域の子供たちや高齢者の方にも声をかけ、参加いただき、利用者とともに楽しまれている。近く小学生の訪問もあり、交流する機会もある。		
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域の独居老人の方の来訪やおやつ会、行事参加を考えているが実施までには至っていない。		まずは、ホームの存在を知り理解して頂ける様に地域との関係作りから行っていきたいと思う。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 全職員参加のミーティングで、自己評価の意義や情報を報告し改善策にちいても話し合い日々のケアに活かしている。評価についても全員の参加で行っている。 (外部評価) 全職員が自己評価に取り組み、ユニットのリーダーがまとめられた。管理者は、自己評価をまとめる際に、理念の実践に向けて職員で共有することの大切さを感じておられた。又、この一年間、利用者が行ってくださることに対して、職員が「感謝の気持ちを伝えること」を大切に取り組んでこられた。		評価結果等を受けて今後、職員で、さらなるケアの質向上に向けて話し合う予定となっている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			2か月に一回開催し、情報・意見交換した内容をミーティングで報告し話し合いサービスの向上に活かしている。		
			(外部評価)		
			会議時、事業所から「散歩時にちょっと座って休む場所がほしい」と相談されたことがきっかけとなり、ご近所の方のお宅の前に、毎日、椅子とパラソルを用意していただいている。時に、職員がその場所の掃除に伺う等、関係を深めておられる。又、現在は、他のグループホームや地域の高齢者も休憩場所として、使わせていただいている。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			三か月に一回のペースで、連絡会があり随時参加し得た内容や情報をサービスの向上に活かしている。		市社協のボランティアに要請し、定期的に来て頂いている。
			(外部評価)		
			生活保護受給者の病院受診時の連絡等をされている。事業所のことを地域の方に知らせる取り組みについて、「事業所に来てもらう」ための働きかけをすすめることをアドバイスいただいた。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			研修に参加し、スタッフにもミーティングで報告し必要な方には活用できるようにしているが現在のところ該当者なし。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			虐待防止関連法に関する書類を事務所に提示し、スタッフは日々確認しながら仕事に取り組んでいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 事前に見学をしてもらい、ご本人・家族と面談を行いその際に十分な説明をし意向をはっきり聞き把握し、納得された上で入居を決めて頂くようにしている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 定期的にご利用者さんと1対1の話をする場を設け、苦情等があった場合はカンファレンス会で話し合いケアに活かす様にしている。又、運営推進会議で利用者さんにも参加して頂き発言の場を設けている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 面会時に現状報告を行うと共に、月に一回手紙を送る際に報告をする様にしている。金銭管理については、出納帳を利用料と一緒に送付して確認してもらっている。		
			(外部評価) 法人全体のたよりを発行されている。毎月のお手紙や介護計画の説明時、又、電話等でご本人の様子を伝えておられる。		ご家族に事業所のことをさらに知っていただけるよう、報告の工夫をされてはどうだろうか。例えば、運営推進会議時、話し合われたことや事業所が特に力を入れて取り組んでいること、職員の紹介やケアの事例等についてもご家族に伝えてはどうだろうか。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 面会時に少しの時間でも話ができるような場を作り意見など出してもらえようようにしている。推進会議などにも参加してもらい発言の場を設けている。		
			(外部評価) ご家族の来訪時や電話等で意見等を聞くようにされている。又、行事時には、ご家族同士で交流できるような雰囲気作りに努めておられる。		事業所は、「ご家族は遠慮しているのではないか」と感じておられる。さらに、ご家族との関係を深めていけるよう、ご家族も参加しやすく一緒に楽しめる行事等も、検討していきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月に一回リーダー会を行い、情報交換をしミーティングで報告し話し合いの場を設けている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 必要な人員は確保できており、緊急時の連絡網も作っており対応できるような体制が取れている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動に関しては、本人の希望以外は最小限におさえ利用者へは、混乱を避ける為に告知していない。 (外部評価) ユニットのリーダーが職員の悩みを聞き取るようにされている。又、ミーティング時に課題点等についても話し合い等をされている。職員の退職について利用者から問われた場合には、退職されたことを伝えるようにされている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 勉強会・研修会を開催したりし、報告書を提出してもらっている。 (外部評価) 外部研修は、リーダーが参加し、職員に内容を周知されている。内部の勉強会を行われたり、職員会議時にケアの悩みを話し合うようにされている。		外部の研修に参加が少ないので、今後も受講を勧めていきたいと思う。  さらに、職員の段階に応じ、外部研修を受講できるような体制作りが期待される。職員個々のレベルアップから事業所のさらなるケアの質向上を目指していってほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			他のホームの推進会議に参加したり夏祭り等にも声をかけ参加してもらったりしている。		2か月に一回、同地区のホームが集まり連絡会をしている。
			(外部評価)		
			近くのグループホームとの交流があり、運営推進会議時にも相互に出席されている。又、火災時の避難時の受け入れ等についても協力し合えるよう話し合われている。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			ミーティング等を行い親睦を図っている。常に話し合える場を作っている。		定期的に親睦会（飲み会）を開いたりしている。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			努力や実績を把握・考慮したうえで、昇給や昇格等を行っている。		
<p><b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p> <p><b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b></p>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			事前にカンファレンスを行い、その際に出来るだけ希望や要望を聞き把握し対応するようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)  事前にカンファレンスを行い、その際に出来るだけ希望や要望を聞き把握し対応するようにしている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)  カンファレンス時に、必要支援を把握しできる限り対応に努めている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価)  事前に家族・ご本人に見学に来てもらい、雰囲気を体感してもらっている。  (外部評価)  入居前には、ご本人、ご家族が事業所を見学されている。事業所の雰囲気を気に入られ、入居される方も多い。入居間もないころ、職員は、ご本人への言葉かけについて特に気配りされている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価)  家事全般を一緒に行い、その都度色々と教えてもらったり一緒に体感している。又、家庭菜園・誕生日会を一緒に行ったりしている。  (外部評価)  男性の利用者の方からテレビや新聞のニュースで得た最新情報を教えていただいたり、旬の魚や調理について教わることが多い。利用者から「昔の言葉」を覚えてもらうこともある。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 心身の状況、日々の出来事を報告し家族の要望・ホーム側からの要望などの意見交換をし、日々のケアに活かしている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族から情報収集したり、利用者さんとの会話の中から情報収集したりしている。面会時は、なるべく自室で一緒に過ごしてもらうようにしている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) いつでも来訪して頂ける様に、出入りを自由に行っている。現在でも、月に数回知人の方などの来訪あり。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 一人ひとりの性格を把握し、相互の関係を理解した上でケアを行っている。スタッフが間に入り、コミュニケーションを取りやすくするように心がけている。		リビングに集まり、レク・映画鑑賞を行ったりしている。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) やわらぎ便りを送ったり、いつでも来て頂けるように出入りを自由に行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p>					
<p><b>1.一人ひとりの把握</b></p>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>各自に担当スタッフを配置し、希望・要望が聞けるような環境を確保している。又、担当外のスタッフが関わられようにもしている。</p>		
<p>(外部評価)</p>			<p>職員は、利用者との会話の中からお本人の思い等を探り、日々のケア記録に留めるようにされている。</p>		<p>利用者のご事情等で情報の少なめの方もおられ、又、意思表示のできにくい方等の思いや意向を知ることにも努めていかれてほしい。さらに、得た情報を蓄積して介護計画につなげていくような取り組みも期待される。</p>
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>事前にアセスメントシートなどで情報収集を行い、経験や得意分野を活かしたケアを心がけている。</p>		<p>生け花の得意な方には、玄関前の花瓶に定期的に花を生けてもらったりしている。</p>
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>介護記録を細かく記入しコミュニケーションを取る中で心身の様子を観察しながら接し、日々の申し送りなどで情報交換したりしている。</p>		
<p><b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b></p>					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>まず本人と話す場を設け、担当が計画を作成しリーダーとモニタリングをした後カンファレンス会で全員で話し合い家族に説明し、相互の意見交換などを行ったりしている。</p>		
<p>(外部評価)</p>			<p>センター方式の書式や事業所オリジナルの書式を用い、ご本人の課題を明らかにして、計画を作成されている。ご家族には計画について説明をされている。</p>		<p>さらに、「ご本人がどのように暮らしたいか」という思いや意向、ご家族の希望等についても十分反映した計画の作成にも取り組まれてほしい。</p>

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			3か月を目安の期間とし、見直しを行う際は再度モニタリングを行い変更時には、その都度家族に説明している。		
			(外部評価)		
			毎月、職員で計画について評価を行い、ご家族に説明をされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			個別にケアプランチェック表を作成し、日々の変化などを記入し介護計画・評価に繋げている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			系列事業所と情報交換・連携を取り、必要に応じて活用している。		
			(外部評価)		
			利用者の希望で、近くの喫茶店に出かけることもある。訪問美容を利用されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 必要に応じて、警察・消防には要請をして協力してもらっている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人の必要・希望に応じて、外部のマッサージやリハビリ等の支援を行っている。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 推進会議や連絡会等で情報交換をし、必要に応じて協力してもらっている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 内科・歯科・協力医療機関と連携を図り、気軽に相談でき治療が受けられる体制を取っている。内科に関しては、定期的な検査なども行ってもらっている。 (外部評価) 毎週土曜日には、協力医療機関の医師が往診に来てくれるようになってきている。又、他の病院にかかっている方についても往診に来てくれるようになっており、いつでも相談でき、診てもらえるようになってきている。		内科に関しては、24時間対応の連携体制が取れている。
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 認知症専門医との連携は、現在は繋がっていない。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価)  看護職員を配属していない為、かかりつけ医・看護婦と連携を取る体制を取っている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価)  入院時には交替でスタッフが面会に行き、家族・医師とカンファレンス・連携を図りながら早期退院が出来る様に対応している。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価)  現状的には、看取りは実施経験がないが重度化時の対応方針を決めており、家族には事前に説明はしておりかかりつけ医とも話合っている。  (外部評価)  ご家族は「ここで、できることでいいので、最期まで見てほしい」という思いを持っておられる方が多い。又、利用者は「ずっとここにおれる？」と聞かれることもあり、職員は「おれるよ」と答えている。		職員は、重度化や終末期のケアを実践するうえで、いざという時の対応について、勉強を重ねていきたいと話しておられた。ご家族の協力を得ることができるよう働きかけの工夫や話し合う機会作り等、ご本人にかかわる全ての人が一丸となって取り組めるよう、体制を整えていかれてほしい。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価)  ホームでの対応の出来る・出来ないを、常日頃からスタッフと話し合い・把握し、医師と連携を取りながらできる限りのことを行うよう取り組んでいる。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価)  カンファレンスなどを行い、徐々に慣れる様に環境を整えるようにしている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			一人ひとりの性格や情報を把握し、本人の意思を尊重しケアを行っている。又、プライバシーに関しては、日頃からスタッフには説明し・確認し合うようにしている。		
			(外部評価)		
			職員は、利用者が選んだり決めたりすることを大切に支援されており、着替えを行う際にもご自分で決められるように場面作りをされている。職員の利用者に対する言葉かけは穏やかで、一人ひとりの性格等も踏まえて対応をされていた。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			外出・食事・入浴・起床・就寝など、本人が自己決定を行える場面を作っている。		
			(外部評価)		
			日々、利用者一人ひとりのペースに合わせてケアを行っているが、時にスタッフペースになっているのも現状。		利用者の自主性が出るような場面作りもしている。 (家事や飼育など)
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			掃除や食事の支度等、職員は、待つ姿勢で利用者を見守っておられ、調査訪問時、家事等の生活の場面で利用者自らが行う場面が多うかがえた。		
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 本人希望の美容・理容室に行ったり、出張美容室等も利用している。更衣時に、本人に洋服を選んでもらうようにしている。		洋服購入時は、本人を誘い自分で選んでもらっている。
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 男女関係なく、一人ひとりの持つ能力に応じ無理のないように協力してもらっている。 (外部評価) 事業所では、食事には特に力を入れて取り組まれており、食材の買い物も利用者とともに出かけておられる。ユニット毎にメニューも違い、利用者の好みも採り入れ、相談しながら食事作りをされており、エプロンを掛けて利用者の方同士で協力し合いながら、支度をされている姿がうかがえた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 各自の好みなどを把握し、希望・要望に合わせて購入している。一緒に買いに行ったり・スタッフが代行したりしている。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェック表を作成し、一人ひとりの排泄パターン・サインを把握し声掛け・誘導を行っている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			基本的には毎日入浴可能な体制を取っており、希望を聞き本人のペース合わせて入浴してもらっている。		
			(外部評価)		
			車いすを使用されている利用者の方は、職員が2人で介助をされている。職員の体制等の理由で、シャワー浴のみになってしまうこともある。		利用者一人ひとりが、お風呂をさらに楽しむための工夫を重ねていかれることが期待される。入浴までの支援に長時間かかる方や意思表示の難しい方についても、さらにリラックスできる入浴の時間となるような工夫について、話し合ってみてほしい。
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			基本的には、起床・就寝時間は決まっておらず本人の希望に合わせている。日中に関しても同様。照明等も希望に合している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			生活歴を把握した上で、個々の得意分野に応じて役割作りを実施し・支援している。		気晴らしに、定期的に外出を計画し実施している。
			(外部評価)		
			毎日、床拭きをされる方がおられる。又、庭のお花や菜園の世話をされる方もいる。たばこを吸う方もおり、飼い犬の「さくら」と散歩にも行かれる。		職員は、事業所内でレクレーションを楽しむ機会を増やしたいと話しておられた。又、1泊旅行にも出かけた話しておられた。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			管理出来る方には、月付きのおこずかいを所持してもらっている。大半は、ホームで管理している。通帳なども毎月見せ確認してもらっている。		自分で管理していない方に関しては、自分用の財布を持ってもらい外出・買い物時にはその財布から自分で支払うように支援している。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			希望に応じて、外出・買い物に出かけている。		季節に応じての外出も行っている。
			(外部評価)		
			ご本人の希望でふるさとを訪問されたり、「泳ぎたい」と希望される方とともに海を見に出かけられた。日々の食材の買出しや散歩、喫茶店や外食にも出かけている。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			希望に応じて、出来る範囲内で行っている。(お墓参り・知人・自宅訪問など)		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			基本的には、自由に電話などは出来るような体制を取っている。かけることの出来ない方に関しては、スタッフが代行してかけたりしている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			基本的には、出入りを自由にしており頻繁に訪問・面会などあり。室内では、自由に過ごしてもらっている。時折、おやつなども一緒に食べたりすることもある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 柵に関しては、家族の要望がない限りは使用していない。車いす使用の方に対しては、希望・意思を尊重しケアに努めている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 夜間帯以外は、鍵をかけず、自由に出入り出来るようにしている。自室に鍵もなく、各自自由に出入りしてもらっている。 (外部評価) 玄関には鍵をかけておられない。網戸で外が見えるようになっていた。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 各自の所在等は、常に把握・確認出来る限り側にいる体制を取っている。		帰宅願望などで、外に出たい方に関しては気分が落ち着かれるまで一緒に付添うようにしている。
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) その方の状況に応じて環境づくりを考えている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 身体に関する防止知識は、消防訓練などで教わったりし参考書などをスタッフには回覧する様にしている。		事故報告書・ヒアリハットを作成し、防止に取り組んでいる。再発防止に向けて、その都度話し合うようにしている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価)  年二回、消防士の方が来て消防訓練、避難訓練、心マッサージや人工呼吸の訓練を行っている。		年二回は参加していても、実際に起こった時には頭が真っ白になってしまう恐れあり、年二回の訓練とチームで集まれる機会を作り緊急時の対応を練習することもいいのではと考えている。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価)  日頃から、地域の方々・ご近所と関わりの場を持つようにし災害時等の協力を依頼し連携体制を取っている。  (外部評価)  年に2回、利用者も参加し、火災を想定して訓練を行っておられる。地域の方の声かけで、いざという時にはお隣のマンションの方が協力してくれることとなっている。		さらに、地震時の訓練等、いろいろな場面を想定して訓練や話し合いを重ねていかれてほしい。すべての利用者が安全に避難できるような方策を検討されてほしい。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価)  状態・状況に応じて、その都度家族に説明し了解を得て対応し要望も聞きいれている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価)  毎朝バイタルを測定し、入浴前などにもバイタルを測定するようにし日中などは顔色・表情などを観察して情報を共有出来るような体制を取っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		<p>服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>各自の服薬の必要性を把握し、服薬の支援を行っている。症状の変化などがあれば、即医師に連絡し支持をもらい対応している。</p>		<p>往診・服薬に関しての記録ノートを作り、変更などがあれば記録し申し送りで報告する様にしている。</p>
75		<p>便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>基本的には、自然排便を心がけている。牛乳を飲んでもらったり、散歩をすることで腸の活性化・食物繊維の食事に取り組んでいる。</p>		<p>下剤を使用している方もいるが、医師に相談し服薬の回数や量を軽減するよう対応している。</p>
76		<p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>毎食後の歯みがき・うがいを声掛け誘導するようにしている。就寝前には、義歯を預かり消毒する様にしている。</p>		
77	28	<p>栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食事量・水分量は個別に記録し、把握する様にしている。メニューに関しては、スタッフがバランス・高齢者向けのメニューを交替で作成する様にしている。</p>		<p>不足している方には、補助食品（ラコール）などを摂取してもらっている。</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>塩分制限のある方や体重管理の必要な方もおられ、量や味付けにも配慮して支援されている。又、利用者それぞれが小さなやかんにお茶を入れて、居室に持ち帰っている様子がうかがえた。</p>		
78		<p>感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）</p>	<p>(自己評価)</p> <p>感染を防ぐためマニュアルを作成している。インフルエンザの予防接種は全員行っている。</p>		<p>ノロウイルス対策として、ピュオロジョンなどの消毒液等を使用。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>まな板、コップのハイター消毒。夕食後のみ食器洗い機にいられている。ふきんも毎日ハイター消毒。一日おきに買い物にいらっており新鮮な食材も使って料理できている。</p>		<p>食材が入っている冷蔵庫に利用者さんのものも入っていて利用者さんが中の物を見られている時、開いたままがあるようで温度が上がり気味。毎回、スタッフが声掛けするのも嫌がる方もいるので区別できる冷蔵庫があればという案もでている。</p>
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>二階の玄関は、あまり日光が当たらないのでお花より観葉植物系が多いが植物を植えたり、二階を上がると木の表札、くつろげるベンチで温かさを感じてもらえるように工夫をしている。</p>		<p>利用者さんで、玄関にお花を植えたいと言う声もあり、利用者さんの希望、季節の花と一緒に植えて、育ててさらに温かい雰囲気を考えていきたい。</p>
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ホール、玄関には毎月、利用者さんと一緒に作った季節の物を飾って、今の季節を感じてもらえる工夫。</p>		<p>日中、天窓からの光が当たり、丁度、その位置におられるかたは眩しい時間帯がある。フィルムか何か、貼り付け少しでも快適にできるように考えてみたい。</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>植物や置物等、利用者の世代に応じたしつらえに配慮されている。</p>		<p>室温管理についても居心地のよさという点から点検してみしてほしい。又、2階の方の生活音等、1階に響き利用者から苦情が出ることもあるとのこと、軽減できるような方策も法人とともに検討されてみてほしい。又2階は、天窓からの日差し等への配慮も工夫を重ねていきたいと話しておられた。</p>
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>テレビの前のソファは、だいたいテレビを見ているのが主である。二台の食卓やもう一つのソファでは、お話がはずんでいることが多い。共用の場で、その日その日の気分ですら自由に過ごしていると思う。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			仏壇や使っていたタンス、人形、小物類を持ってこられているところもある。自宅にある方は出来るだけ、馴染みの物を持ってきて頂きたいことは家族さんに伝えるようにしている。		
			(外部評価)		
			居室には、仏壇やタンス等が持ち込まれ、壁に、ご主人が愛用されていた掛け軸を飾っておられる方もいた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			利用者さんの起床前と日中一回、天窓、ベランダの戸をあけ換気している。温度計と湿度計を、ホールにおいており時々、確認している。よく動かれる利用者さんが暑いといわれ、温度を下げる際、車イスであまり動かせない利用者さんの手足など確認しながら、声掛けにて膝かけなどを掛けさせて頂く配慮ができています。		エアコンの温度が、時々日中の暑いときの温度のまま、夕方となっているときがある。利用者さんの生活の場としての温度となっているか考えて、その都度、調節できるようになりたい。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			浴室、廊下、トイレなど、要所には手すりが設置している。昇降機も設置しており身体機能が低下しても生活を続けることができる工夫をしている。		去年に比べて重度の方が増えて、同じ位置の手すりでは、介助する際に不自由な点が増えてきたように思う。利用者さんの残存能力を生かすためには、介助の工夫も大切だが、環境面での工夫も大切だと思う。
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			居室には、表札や個々ののれんを飾っている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			玄関では、一対一で、悩みを聞く場であったり、何人かでシャボン玉をしてみたり、ベランダでは一緒に洗濯物を干したり、日光浴をしたり、好きな人でねぎ、大葉を植えたりいろいろな場面で活用している。		車いす、リクライニングの方も増えてきたので、ベランダを広げてほしいという意見もチームからでている。

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんど掴んでいない	その方その方の思いや願いを聞く時間を作ったり、その方その方の暮らし方を考えたりしている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) 1 毎日ある ② 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	昼食後から二時頃までゆったりできる時間がある。(スタッフ全員ではない)
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自立している人は自分のペースで過ごされているが、車イスの方などは、本人の訴え時以外もスタッフのペースでの介助になっていることもあると思う。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人一人が活躍できる場を作ったり、笑顔がみれる工夫をしているから。お手伝いをして下さったときには、お礼の言葉を忘れずに伝えるように心がけている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	すぐに準備ができるひとは外出が多いが、すぐに準備ができなく時間がかかる利用者さんは行きたい所があっても行けてないと思う。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	年二回の定期検査や週一回の定期診療、気になることがあれば24時間体制で先生に連絡して指示を頂いている。利用者さんが気になることがあれば、ゆっくり説明して下さり、利用者さん自身安心されることもある。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	要望のある方には、その都度対応を心掛けている。要望の少ない方に関しては、こちらから声掛けをして希望などを聞く体制を取っている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) 1 ほぼ全ての家族と ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	来られる家族さんとは、信頼関係がとれてきていると思う。来られない家族さんに対しては、こちらから手紙や電話などで、近況報告を兼ねての呼びかけや、行事への参加をしていただき信頼関係を築いていきたい。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	近所に住んでいる子供たちが、時々犬のさくらに会いに来ている。。近所の方が、1週間に1, 2回、特定の利用者さんに会いにきている。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	(自己評価) 1 大いに増えている ② 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	地域の方の協力で、お正月には獅子舞を呼んで下さったり、散歩コースに椅子とパラソルを置いて下さったり、民生員さんの協力で日本舞踊のボランティアが来て下さったり、徐々にではあるが、良くなっていると思う。
98 職員は、生き活きと働けている	(自己評価) 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが ③ 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	やりがいはあるが、重度の方も増えて、精神的、体力的にもきつくなって、体調をこわす方もでてきている。スタッフの中には、こんな事がしてみたいという思いを、中々、現場で実現できずストレスを感じている方もいる。仕事では、大体のスタッフが笑顔で取り組んでいる。
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者さんの要望には答えようとしているが中には100%の満足を願っているかたにとっては、まだまだ不満があると思う。
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) 1 ほぼ全ての家族等が ② 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会に来られた時にゆっくりと利用者さんと話された後帰られる時に感謝の言葉を頂く。

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

\* 歌や舞踊のボランティアに来てもらったり、季節季節の行事にも、利用者さんも喜ばれている。地域の方にも呼びかけ年々参加人数も増えている。\* 毎月、季節の物を利用者さんと作り飾りしている。ただ、作るだけでなく会話や、何か感じて頂ける工夫をしながら関わりを大事にしている。